

日本経営工学会関西支部 平成19年度 第3回運営委員会議事録

日時：平成19年10月6日(土) 17:00～17:30

場所：ダイキン情報システム株式会社 会議室

参加者：18名

1. 議事録確認

- 平成19年度 第2回運営委員会, 平成19年9月1日(土) 17:00～17:45開催

2. 理事会報告 (能勢 氏)

- 第29期 第2回理事会：平成19年9月5日(水)14:00～18:00
於 日本大学経済学部3号館4F会議室
出席者：理事11名(委員長の代理1名含む), 監事1名, 事務局1名
- 会員数(平成19年9月5日現在)
名誉会員27名, 正会員1,531名, 学生会員237名, 賛助会員31社32口。

<議決事項>

- 第29期第1回理事会議事録・理事会だより報告(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき報告があり, 名誉会員の合計数の修正の後, 原案が承認された。
- 入退会に関する件について(会員)
会員担当理事より, 資料に基づき報告があり, 2005～2007年の3年間の年会費を一括で納め正会員に復活後, すぐに退会した1名について, 過去の事例から承認することで, 復活者2名に修正の後, 承認された。しかし, 会費未納者の除名から復活(再入会)を慣例として認めてきたが, この処理は細則に明記されていないために, 会員担当理事が会員細則の改正を検討することとした。

<協議事項>

- 横幹研究プロジェクト提案の募集(副会長)
副会長より, 横幹連合から会員学会宛に募集依頼があった要項により9月末締め切りの説明と, 別資料「横断型研究プロジェクトに関する助成金申請書」の記入事例について配布して説明があった。なお, 本件は報告事項とすることとなった。
- 今後の教員協議会について(大会)(資料2-4)
大会委員長(大会担当理事代理)より協議事項について資料に基づき説明があった。次に会長より経営工学教員協議会の生い立ちについての説明, 理事会としてどう対応するか観点で検討することの要請があった。経営工学会としては本協議会を残して欲しいという意見はなく, 教員協議会で解散する方針を議決した場合は経営工学教育研究集会をJIMAの大会で開催すること等を検討していく方向性が確認された。
- 経営工学会メーリングリスト(ML)運用について(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき説明があった。現在, メーリングリストに登録されているのは170名程度であり, まず, 初回メール通知時にメーリングリストへの登録の承諾を得るための運用初期設定を行うことを前提に登録者を会員数に近い数字にあげ, 並行してメーリングリスト運用細則を整備するという提案があった。初期設定方法は承認され, 登録アドレスの変更が頻繁となることが予想されるので, メール発信におけるセキュリティへの考慮, アドレス変更を申請者でなく事務局で行うべき等の意見もあり, 次回理事会で細則を協議することになった。
- 春恒社契約見直しの件(庶務)
庶務担当理事から資料に基づき春恒社との現在までの経過内容についての説明があった。公益法人転換後の対応も含めて自前事務局設置の検討, 他社契約の乗り換え検討等, 予算手当が必要な検討事項は次回理事会に提案することになった。

<報告事項>

1) 7/6 会長メモに基づく検討事項について (会長)

7/6 付で会長から各理事に求められていた標記の件 (100 周年記念事業, 60 周年記念事業への提案) について, 各理事から提案された内容の説明があった。会長より, 100 周年は小谷副会長, 60 周年と今期課題は能勢副会長担当とし, フェローと貢献賞の新設はぜひ60周年でやること, その後の課題は今後理事会で検討し, 協力して知恵を出し合うことが要請された。

2) FMES 主催 JABEE 経営工学関連分野審査講習会 (JABEE 担当)

JABEE・支部理事から標記の件について報告があり, 2007 年度の FEMES 事務局幹事は信頼性学会が行い, JIMA は 2008 年度に担当することとなり, 企画行事委員会がサポートをすることで承認された。

3) FMES 実行委員会担当委員について (副会長)

JABEE・支部理事から標記の件について説明があり, FMES 実行委員会担当委員の交代が承認された。

4) 秋季大会での発表予定件数について (大会)

大会委員長 (大会担当理事代理) より, 本年秋季大会で研究発表 134 件, 部会発表 1 件, 大会特別行事 2 件の計 137 件の発表予定件数が報告された。

5) 秋季大会での新規加入予定者について (大会)

大会委員長 (大会担当理事代理) より, 標記の件について報告された。

6) 第 29 期第 2 回理事会報告 (国際・渉外)

国際・渉外担当理事より資料に基づく報告があった。

7) 掲載料・別刷代請求一覧 (編集(論文誌))

編集(論文誌)担当理事より資料に基づく報告があった。

8) ニュース・メール

事務局より, 日本学術会議ニュース・メール N0.92~No.97 の報告資料の提示があった。

次回, 第 29 期 第 3 回 理事会開催予定

平成 19 年 10 月 19 日(金) 16:00 ~ 20:00 会場: ホテルニューオオタニ札幌 (仮)

3. 定例セミナー報告 (岩崎 氏)

- ・平成 19 年度 第 1 回 定例セミナー開催報告 出席者 25 名

日時: 平成 19 年 10 月 6 日(土) 14:00 ~ 17:00

場所: ダイキン情報システム株式会社 会議室

講演 I 「輝いて生きる統合の人間力とメンタリング ~ 人の成長の支援と指導 ~」

講演者: HAI センター所長, 教育・研修・健康コンサルタント 小池 喜四雄 氏

講演 II 「24/7 の問題と労働条件の改善 ~ 疲労リスク管理による事故と経営コストの削減 ~」

講演者: サーカディアン・テクノロジーズ・ジャパン有限会社 代表取締役 森国 功 氏

4. 「IT 活用と人・組織」研究部会報告 (宇井 氏)

- ・平成 19 年度 第 1 回 開催報告

日時: 平成 19 年 9 月 10 日(月) 15:00 ~ 17:00

場所: 大阪工業大学 大阪センター (毎日インテシオ 3F)

テーマ: 現場力と見える化

講師: 遠藤 功 氏 (早稲田大学大学院商学研究科教授 / (株) ローランド・ベルガー取締役会長)

参加者 34 名 (大学 10 名, 企業 24 名)

- ・平成 19 年度 第 2 回 開催予定

日時: 平成 19 年 10 月 13 日(土) 14:00 ~ 17:00

場所: 日本 SGI(株) 西日本支社 (ハービス OSAKA 11F)

テーマ①: オープンソースソフトウェアの今

講師: 高澤真治氏 (日本 SGI(株) チーフ Linux コンサルタント)

テーマ②: 実用期を迎えた SaaS (Software as a Service)

講師: 光田省三氏 (株)セールスフォース・ドットコム 大阪事業所長)

- ・平成19年度 第3回 開催予定
日時：平成19年10月27日(土) 14:00～17:00
場所：マイクロソフト(株)大阪営業所
テーマ①：Web2.0時代のナレッジマネジメント (仮)
講師：亀津 敦 氏 (株) 野村総合研究所
テーマ②：グループウェア desknet' sについて (仮)
講師：小沼 尚夫 氏 (株) ネオジャパン)

5. 「イノベーションとマネジメント」研究部会報告 (能勢 氏)

- ・平成19年度 第1回 開催報告
日時：平成19年9月15日(土) 15:00～17:00
講演時間 15:10～16:10, 討議時間 16:10～17:00
場所：大阪工業大学 大阪センター (毎日インテシオ 3F)
題目：イノベーションと経営 ～ 組織体の成長発展のために ～
講師：栗山 仙之助 氏 (大阪工業大学/摂南大学)
参加者：12名
内容：

(1) 研究部会講演内容

第1回の研究会では「イノベーションと経営～組織体の成長発展のために～」と題して第21期会長の栗山仙之助先生に以下の7つにポイントを分けてご講演いただいた。

- ① イノベーションの背景
- ② イノベーションとは
- ③ ゴーイング・コンサーンの実現
- ④ イノベーション・プロセス
- ⑤ 経営管理者 Kのイノベーション実践
- ⑥ 教育・研究・管理者として Kのイノベーション実績
- ⑦ イノベーションの勧め

企業に於けるイノベーションでは、固有技術、品質管理、設計管理、生産管理、工程管理、システム管理、経営計画、経営管理という順にイノベーションに関わってきた経験と、大学運営、さらには学会運営に於けるイノベーションに携わってきた経験を紹介いただき、その2つの共通する条件について示された。

(2) 研究部会討議内容

その後のディスカッションを通じて、参加者から次のような意見と提案があった。

- ① イノベーションのプロセスに関する検証
- ② イノベーションの促進/阻害要因の整理
- ③ 研究開発における成果主義、目標管理
- ④ イノベーションのための風土と場
- ⑤ 持続可能なイノベーション
- ⑥ 人、モノ、金、情報+場という経営資源
- ⑦ 成功に学び、失敗に学ぶ場

- ・今後の予定
第2回研究部会 11月1日(木) 17:00～(予定)
場所：インテックス大阪 講師：三藤 利雄 氏 (摂南大学 教授)
第3回研究部会 11月29日(木)
場所：京都大学時計台100周年記念館 講師：未定
第4回研究部会 1月26日(土)
場所：未定 講師：谷 彰三 氏 (シャープ (株))
講演題目：シャープにおける価値創造とイノベーション (仮題)

6. その他

- ・「経営工学実践賞の受賞候補者発掘のため」のプロジェクトチームについて（溝口 氏，宇井 氏）
 - a. 大阪市立大学 太田 雅晴 教授に新たにプロジェクトチームに加わって頂くこととなった。
 - b. 関西インダストリアル・エンジニアリング協会との関連について
 - ① 実践賞についての関西 IE 協会との同調は困難である。
 - ② JIMA 関西支部各行事の関西 IE 協会メンバーへの配信はご協力いただけることが，溝口氏より報告された。

- ・特別研究会について（溝口 氏，能勢 氏，資料 [H19-3-1](#) 参照）
平成 19 年度特別研究会の概要が，資料 H19-3-1 に基づき，溝口 氏，能勢 氏から説明された。